

課題分析（アセスメント概要）

健康状態	慢性心不全末期。慢性腎炎から慢性腎不全となっている。終末期の経過での対処療法を行っていく。	
A D L	すべての動作において全介助状態。	
I A D L (手段的日常生活)	すべて娘さん夫婦が行っている。言葉で指示はできる。	
認知	年相応の物忘れはあるが認知症の診断はない。	
コミュニケーション能力	声掛けに対し正常な受け答えはできる。お話は好き。	
社会との関わり	デイサービス利用時以外の外出はない。近所の方も高齢の為関りはほとんどない。	
排泄・排便	おむつにて全介助状態。排尿・排便の感覚はあり、訴えることはできる。	
じょく瘡・皮膚の問題	皮膚は薄くなっており裂傷しやすい状態。仙骨部に床ずれが入院中できてしまったが現在は完治している。	
口腔衛生	自分の歯が18本程度残っている。歯根に歯石がついている。入院中は看護師が歯磨き等行っていた。	
食事摂取	入院中は食事が食べれない、吸収できないとのことで点滴のみ。だんだん枯らしていく援助。本人はウナギが食べたいと話す。	
B P S D (周辺症状)	特になし	
介護力	同居の次女さん、夫ともに腰痛がある。同居の孫は大学へ通っている。長女は他市にいるため常時は来れない。次女と長女の確執があるのであまり協力体制はない。	
居住環境	一軒家。敷地は大きく畑などもある。大きい道より入った静かな立地。	住宅見取り図
その他 (経済状況)	本人の年金は国民年金。貯金を切り崩し生活している。娘夫婦も協力している。	